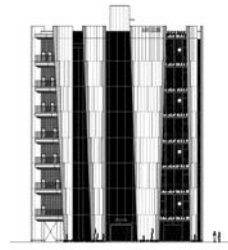


CASBEE® 名古屋

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2014年版、名古屋建築 物環境配慮制度運用マニュアル2014 | 使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2014(v.1.22)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ACROSS CUBE NAGOYA	階数	地上8F
建設地	愛知県名古屋市西区牛島町605-1	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	物販店、飲食店、集会所、病院、	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2017年1月 予定	評価の実施日	2015年12月22日
敷地面積	870 m ²	作成者	
建築面積	685 m ²	確認日	2015年12月22日
延床面積	4,942 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

= BEE0.9 ★★☆☆☆☆

☆: S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆☆

☆:100%超 ☆☆:100% ☆☆☆:80% ☆☆☆☆:60% ☆☆☆☆☆:30%

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	92%
③上記+②以外の	92%
④上記+	92%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.0

音環境	3.0
温熱環境	3.0
光・視環境	2.7
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

機能性	2.6
耐用性	3.0
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 2.6

建物外皮の	1.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.3
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.3

地球温暖化	3.3
地域環境	3.6
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
ほぼ全面的にF☆☆☆☆を使用	内装仕上材は耐用年数の長いものを使用	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	躯体と仕上材が容易に分別可 再利用できるユニット部材の使用	LCCO ₂ 排出率=92%

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される